

# 統計アラカルト

熊本の統計情報 令和元年12月26日

県民の皆様に統計を身近に感じていただくためのページです。

随時色々な統計に関する話題・データを紹介します。

## 30年間で、行動はどう変わった？(趣味娯楽編 その3 都道府県比較)

今回は「社会生活基本調査」を使って、平成の終わりごろに最も行われた趣味娯楽が、昭和の終わりごろにどうであったのかを交えて見てみたいと思います。この調査は5年おきの調査のため、比較可能なのは、昭和61年(1986年)と平成28年(2016年)になります。15歳以上の結果です。

### 1. H28年のベスト5について、S61年からの増加割合を見てみると(全国)

右のグラフは、男女別にH28年の全国の行動者率が高かった方から五つの趣味娯楽を並べたものです。

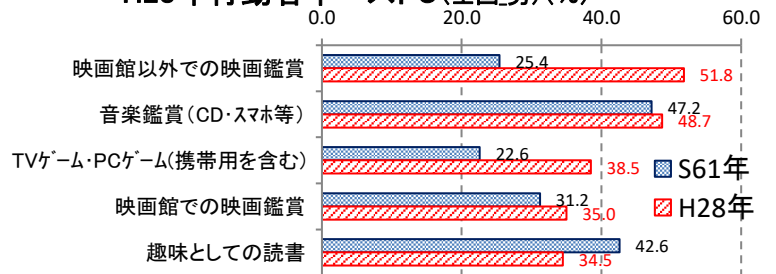
男性では、上位四つはS61年よりも行動者率が高くなっていますが、読書は低くなっているのが分かります。

中でも、映画館以外での映画鑑賞の増加割合が最も高く、およそ倍に増えていることが分かります。2番目はTVゲーム等で、その増加割合は70%程度でした。

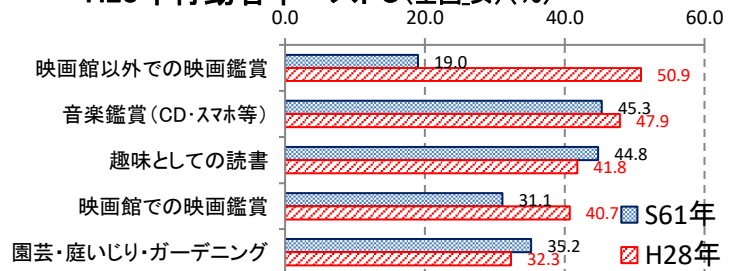
女性では、高い方から1、2、4番目はS61年よりも行動者率が高くなっていますが、3番目の読書と5番目の園芸等は低くなっているのが分かります。

特に、映画館以外での映画鑑賞の増加割合が、他と比べて突出しています。2番目は映画館での映画鑑賞でした。

#### H28年行動者率ベスト5(全国男)(%)



#### H28年行動者率ベスト5(全国女)(%)



### 2. 映画館以外での映画鑑賞の変化を都道府県別にみると(男性)

増加割合が最も高かった映画館以外での映画鑑賞について、S61年の都道府県ごとの行動者率の順位で色分けしたのが左の図です。S61年からH28年での行動者率の増加割合が高い順に色分けしたのが右の図になります。

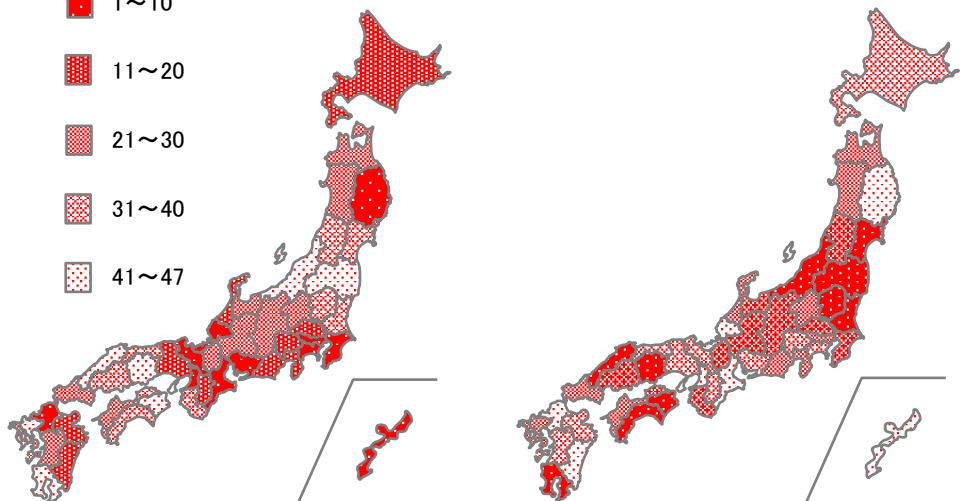
左の図で行動者率が下位にあった県(薄い赤)を右の図でみると、ほとんどの県で増加割合は高く(濃い赤)なっています。

また、行動者率が上位にあった県(濃い赤)を右の図でみると、ほとんどの県で増加割合は低く(薄い赤)となっています。

#### 行動者率順位(S61年)



#### 行動者率増加割合の順位(S61~H28年)



※ S61年は「ビデオによる映画鑑賞」  
H28年は「映画館以外での映画鑑賞(テレビ・DVD・パソコンなど)」を比較しています。

### 3. 映画館以外での映画鑑賞の変化を都道府県別にみると（女性）

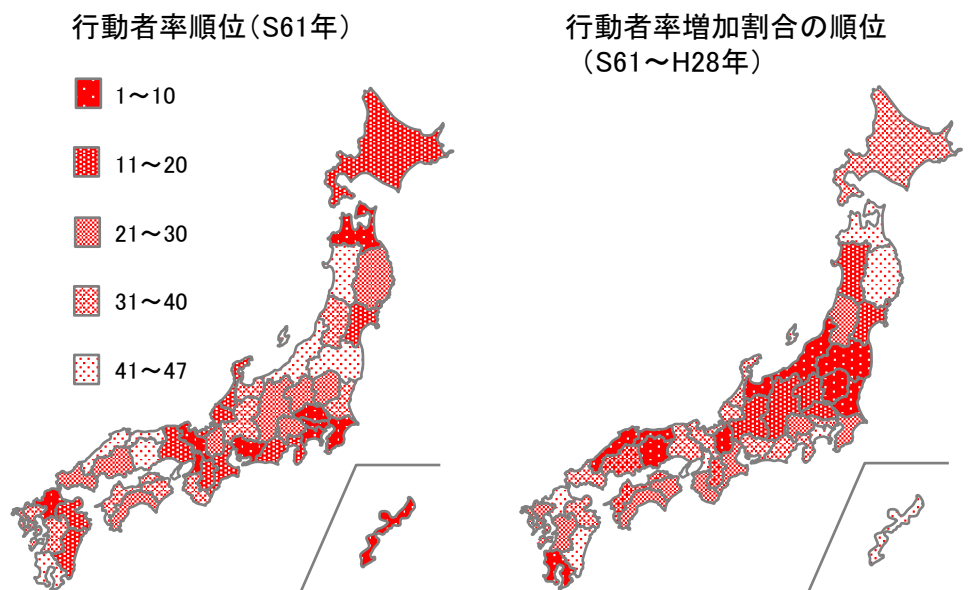
増加割合が最も高かった映画館以外での映画鑑賞について、S61年の都道府県ごとの行動者率の順位で色分けしたのが左の図です。S61年からH28年での行動者率の増加割合が高い順に色分けしたのが右の図になります。

左の図で行動者率が下位にあった県（薄い赤）を右の図でみると、男性と同じくほとんどの県で増加割合は高く（濃い赤）となっています。

また、行動者率が上位にあった県（濃い赤）を右の図でみると、ほとんどの県で増加割合は低く（薄い赤）となっています。

男女とも同じような動きを見せていますが、ここでは順位で図示しています。

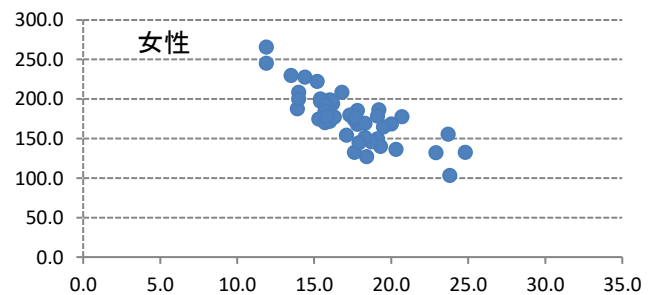
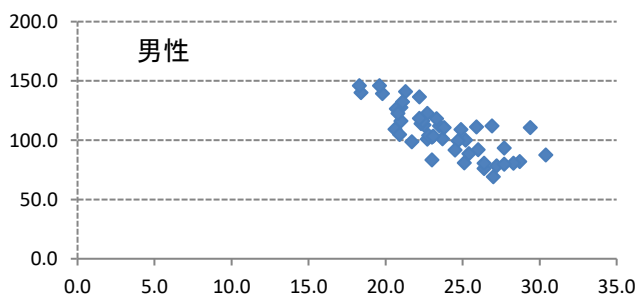
数値からも同じことが言えるのか、次でみてみましょう。



### 4. S61年の行動者率と、S61～H28年の行動者率の増加割合の関係は

下の図をみると、男性・女性とも右肩下がりに点がプロットされており、相関関係が見て取れます。一つ一つの点は都道府県に対応しています。S61年の行動者率が低かった県（図の中で左に寄っている県）は、行動者率の増加割合は高くなっています（図の中で上に寄っている）。逆に行動者率が高かった県は増加割合は低くなっていることが確認できます。

S61年行動者率（横軸）と、S61～H28年の増加割合（縦軸）（%）



### 5. 映画館以外での映画鑑賞の、都道府県間の行動者率の差（比率）は小さくなった。

映画館以外での映画鑑賞の行動者率が最高と最低の県を数値で比べてみると次のとおりです。

男性	S61年	最高	30.4%	最低	18.3%	比率	1.66倍
男性	H28年	最高	61.9%	最低	42.2%	比率	1.47倍
女性	S61年	最高	24.8%	最低	11.9%	比率	2.08倍
女性	H28年	最高	60.6%	最低	40.0%	比率	1.52倍

行動者率は、男女ともH28年の方が都道府県間の比率が小さくなっていることが数値のうえでも分かります。

要因としては、特に地理的制約を受けにくいネットが発達・浸透したことが推測できます。

この調査のうえでも、S61年の調査項目は「ビデオによる映画鑑賞」となっており、媒体としてビデオが想定されていました。H28年には「映画館以外での映画鑑賞（テレビ・DVD・パソコンなど）」となっており、媒体の変化、ネットの発達が調査項目として取り込まれています。

熊本県の統計情報は

「[http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c\\_id=3&class\\_set\\_id=1&class\\_id=1297](http://www.pref.kumamoto.jp/hpkiji/pub/List.aspx?c_id=3&class_set_id=1&class_id=1297)」をご覧ください。

問合せ先：熊本県企画振興部交通政策・情報局統計調査課 総務資料班 〒862-8570 熊本市中央区水前寺6-18-1  
電話：096-333-2174 / Fax：096-384-7544 / メール：toukeichousa@pref.kumamoto.lg.jp